

調査のなかで分かってきたこと

調査は、専門家などの関係者で構成される松倉城跡調査指導委員会による指導をもとに進めていきます。令和2年に実施された主郭(本丸)の調査で分かったことをご紹介いたします。



崩れた石垣①

城の入口と思われる部分には、三之丸などの石垣が崩れて、大きな石がたくさん積み重なっていました。人為的に壊されたのか、自然に崩れたのかなど、様々な可能性があり、今後の検証が必要です。



崩れた石垣②

本丸の南側と西側では、石垣が崩れて堆積しているのを発見しました。石垣に使われていた大きな石や内側に詰められていた小さい石が大量に積み重なっていました。



隠れた石垣

本丸外側では、崩れた石が堆積し、石垣の下部が見えなくなっていました。掘り出すと1メートル以上の石垣があることが分かりました。上部の石垣と合わせると当時は今見えるよりもさらに高い石垣があったことになります。



本丸の防衛

本丸の北・西側には、写真のような石の列を確認しました。上部にあったと思われる石は失われていますが、1段目のみ残っている石垣です。当時の城は、この四方を巡る石垣により、守られていたと考えられます。

現場の声 Real Voice



松倉城跡調査の主任調査員の玉腰雅美さんに、調査についてお聞きしました。

調べれば調べるほどに発見が

初めて城の発掘調査に携わりましたが、城は構造が面白いです。石垣一つを見てみても、大きな石の合間に小さな石を組み合わせることで石が崩れないように工夫が施されています。

この石垣が、400年前からずっと残っている現状を見ると、その当時の技術者のすごさが分かります。

調査を進めるほど、上記の発見も含め当初想定していたものとは違った発見があります。

今回の調査は、国史跡の指定に向けた調査です。日々勉強を重ねながら、また、大事な痕跡を見落とすことなく、発掘で見つけた物を傷つけないように慎重に調査を行っています。松倉山は、気軽に行くことができる場所です。ぜひお越しいただいて、松倉城跡の石垣の素晴らしさを感じて欲しいと思います。



主任調査員
たまこし まさみ
玉腰 雅美 さん

国史跡の指定に向けて、着実に調査を進めています